

できるところから

地区防災計画

～地域特性に応じた地区防災計画のモデル例～



はじめから
完璧を目指さなくて
OKまる～♪

栃木県

はじめに

近年、全国各地で災害が頻発・激甚化しています。大規模な災害が発生した際には、「自助」はもちろんのこと、地域の住民同士の助け合いである「共助」が重要です。

地区防災計画は、災害の発生前・発生後の地域の取組をあらかじめ“地域のみんな”で話し合っておくことで、備えの段階や、いざ災害が起きたときに“地域のみんな”で適切な行動がとれるようにするための計画です。

県としては、地区防災計画の重要性に鑑み、県内各地で地区防災計画策定が進むよう積極的に支援して参りました。一方で、「地区防災計画の内容を地域で自由に決められるがゆえに、何を記載したらよいか分からない。」という意見が多々寄せられたところです。

このことから、この度、地区防災計画策定の参考となるようにモデル例を作成いたしました。令和4(2022)年2月に策定した「**みんなが主役！地区防災計画策定マニュアル**」と併せて御活用いただけたら幸いです。

令和8(2026)年2月

※本冊子の編集にあたり御協力いただきました。

NPO法人 栃木県防災士会

【参考】**みんなが主役！地区防災計画策定マニュアル** (栃木県HP)

https://www.pref.tochigi.lg.jp/c02/tiiki-bousai/documents/bosai_1.pdf



目 次

はじめに	1
地区防災計画モデル例<基本版>	3
1 地区の概要	5
2 防災活動	7
3 避難所・避難場所・防災倉庫	12
4 関係機関連絡リスト	12
5 保有防災資機材・備蓄リスト	13
6 地区防災マップ	14
～栃木県内の防災マップ事例～	15
地区防災計画モデル例<孤立可能性集落版>	17
1 地区の概要	19
2 防災活動	21
3 孤立可能性集落の対策	25
4 地区防災マップ	28
地区防災計画モデル例<シンプル版>	29

地区防災計画モデル例 基本版

〇〇市(町)〇〇地区防災計画 【第〇版】

〈写真・イラスト等〉

- (例)
- ・地区の風景写真
 - ・過去の災害による被害が分かる写真
 - ・地域の子どもが描いたイラスト など

このスペースに、自由に
イラストや写真をいれて
オリジナルの表紙を完成
させるまる〜♪



令和〇〇(20・・)年〇〇月 〇〇地区自主防災組織・自治会

かつて自主的につくった計画を
みんなで見直して、「地区防災計画」と
するのもOKまる♪



地区防災計画モデル例／基本版

項目例

項目	内容
地区の概要	基本方針
	地区の範囲と地区の特徴（社会特性）
	過去の主な災害
	今後想定される災害
防災活動	活動目標・活動体制
	平常時の防災活動（活動スケジュール）
	災害時の防災活動
	災害発生時のフロー図
防災関係施設・ 資機材リスト	避難所・避難場所・防災倉庫
	関係機関連絡リスト
	保有防災資機材・備蓄リスト
マップ	地区防災マップ



- ・最初からすべてを盛り込む必要はありません。地区に必要な項目から盛り込みましょう。
- ・定期的に見直しながら、項目を増やしていくこともOKです。

地区防災計画は、
小さく産んで
大きく育てるまるね〜♪



1. 地区の概要

(1) 基本方針

- 自分達の地域は自分達で守る
- 「自助」と「共助」で災害を乗り越える
- 定期的な訓練の成果を計画に反映させて更新する

みんなで話し合っ、カッコイイ
「基本方針」にするまる〜♪



(2) 地区の範囲

〇〇防災会、〇〇自主防災組織、〇〇自治会など

自治会でも、小学校区でも何でもOKまる♪
動きやすい単位が大切まるよ〜!



(3) 地区の特徴

人 口	〇〇〇人 (うち要支援者〇人)	世 帯 数	〇〇〇世帯 (うち要支援者のみ〇世帯)
状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇市(町)中央部に位置している。 ・狭い路地が多い。 ・古い木造住宅が密集するエリアがある ・高齢者が多い地域(65歳以上の高齢者の割合〇〇%) のため、避難行動要支援者対策が重要である。 ・ゲリラ豪雨時に内水氾濫が起きるエリアがある。 ・〇〇川の氾濫により、周辺が浸水したことがある。 <p style="text-align: right;">など</p>		

令和〇年〇月時点

(4) 過去の主な災害

災害名称 発生年月日	災害による被害状況など
東日本大震災 平成23(2011)年 3月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・14時46分に発生。〇〇市(町)は震度6強。 ・住家:約〇棟が全壊。約〇〇棟が半壊。ブロック塀の倒壊多数。 ・停電:〇世帯。〇日で復旧。 ・断水:〇世帯。〇日で復旧。 ・〇〇道路で液状化発生。
令和元年東日本台風 令和元(2019)年 10月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇川が氾濫し、周辺地区が浸水。★★地区では、床上浸水〇棟、床下浸水〇棟の被害が発生。大雨で〇〇ミリを観測。 ・避難所開設:〇〇小学校(〇世帯〇〇人避難)

(5) 今後予想される災害

災害種別	想定される災害	対策
大雨災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇川氾濫で〇号線が通行不能になる恐れ。 ・斜面の多い〇〇地区では土砂災害の恐れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難する際には、近所の方々に声をかけて、明るいうちに早めに避難所へ避難。 ・避難行動要支援者の対策。
地震災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・家屋やブロック塀の倒壊。狭い路地は通行不可。 ・人的被害の恐れ。 ・火災の発生・延焼の恐れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所を洗い出し、マップ整理、各家庭に配布。 ・避難時はブレーカーを落とす。ガスの元栓を閉める。感震ブレーカーの設置を促す。 ・自助力の向上。

過去の災害から学んで、今後に役立てるまる~♪



2. 防災活動

取り組みやすい「防災資機材のチェック」から
訓練をはじめまる~♪
楽しく防災活動をするのも継続するコツまるよ~!

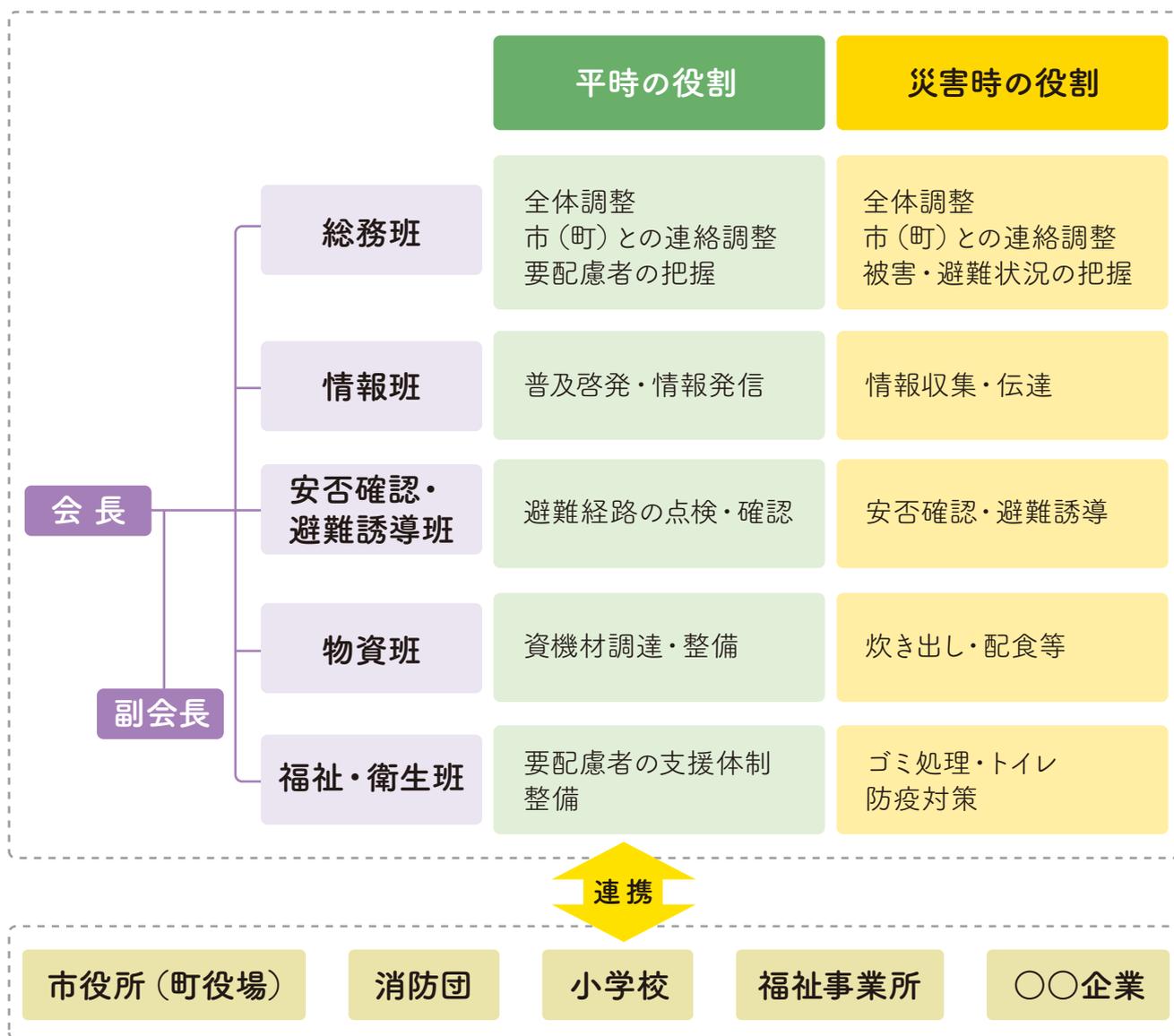


(1) 活動目標

【例】

- 地区のお祭りと一緒に防災訓練も毎年実施。
- 防災を住民みんなで楽しく学ぶ機会を設ける。 など

(2) 活動体制と役割



班編制は柔軟に!



必要な班を
考えるまる~!



(3) 平常時の防災活動

この中から地区の実情にあったものを選んで活動するまる〜♪



時期	項目	内容
4月	役員会	・地区防災計画の配布・共有
5月	防災訓練(春)	・関係機関との防災訓練(避難所運営等) ・備蓄倉庫の防災資機材チェック
6月	要配慮者の支援体制整備・訓練	・要配慮者と支援者の顔合わせ・連絡網確認 ・個別避難計画に基づく訓練
7月	普及啓発	・防災研修会の開催
8月	地区夏祭り+防災	・夏祭りに防災の要素を追加し、防災を楽しく学ぶ機会を確保(防災クイズ等) ・地区防災計画の周知
9月	一斉点検の日	・防災の日に合わせて、各家庭一斉点検
10月	防災まち歩きと防災マップ更新	・まち歩きで危険箇所の把握や避難経路の点検等を実施し、マップを更新
11月	地区イベントと防災訓練(秋)	・地区のイベントと抱き合わせによる防災訓練(消火訓練、避難誘導訓練等)
3月	地区防災計画の見直し	・1年間の活動を振り返り、計画の見直しを実施
随時	日常備蓄の推進(ローリングストック)	・各家庭で普段食べているものや使っているものを常に少し多めに購入



- ・活動を振り返り、地区防災計画を見直すことが重要です。少しずつ計画を充実させていきましょう(PDCA サイクル)。
- ・楽しいイベントと防災をかけあわせることで、若い世代の参加が期待できます。

PDCAサイクルが重要まるね〜♪



(4) 災害時の防災活動

項目	担当	内容
役員の招集 地区対策本部	会長 副会長 総務班 各班長	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇地区対策本部(緊急役員会)を立ち上げ ・各班の人員調整や活動調整
情報収集・伝達	会長 副会長 情報班	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡網により住民に避難を呼びかけ ・地区の被災状況を把握 ・市役所(町役場)へ被災状況を報告
安否確認	安否確認・ 避難誘導班	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の安否確認を実施
避難行動 要支援者の支援	福祉・衛生班	<ul style="list-style-type: none"> ・個別避難計画に基づき、避難行動を支援する者に連絡し、安否確認や避難支援を実施
避難所の運営	総務班 物資班 福祉・衛生班	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇小学校に開設された避難所の運営を実施(受付簿を設置) <p><避難所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策 ・トイレ・ゴミ処理の対策 ・避難者の状況をとりとまとめ ・炊き出し等の給食、給水 ・防犯のため避難所内を巡回 ・避難者に対する声かけ ・物資管理 など

毎年訓練をすると、活動内容のイメージができるまるよ～!



- ・災害発生時には、速やかな安否確認や住民に寄り添った避難所運営など、住民の安全・安心の確保が最優先になります。

(5) 地震発生時の対応



発生直後
～数時間まで

- ・自身と家族の安全確保
- ・避難場所へ避難
- ・隣近所の助け合い
(出火防止・初期消火・救助等)
- ・住民の避難誘導
避難行動要支援者の避難支援

避難時には
電気のブレーカーを落とし
ガスの元栓を閉める

数時間後
～1日まで

- ・安否や被害に関する情報収集 ・初期消火活動
- ・救出活動 ・負傷者の手当・搬送
- ・避難所の開設準備 ・資機材の搬入、設置

1日
～3日まで

- ・避難所の運営 ・自治体及び関係機関の情報伝達
- ・他団体等への協力要請 ・物資配分、物資需要の把握
- ・炊き出し等の給食、給水 ・感染症対策 ・防犯
- ・トイレ、ゴミ処理 ・避難行動要支援者への配慮 など

復旧・復興の段階へ

大きい災害のときは、行政も被災するまるから、地区でできることは、共助の力で乗り越えるまる～!



(6) 風水害発生時の対応

災害発生前

- ・ 早期の情報伝達・事前行動が重要。
- ・ 土砂災害の前兆現象に注意。異変があれば自主避難。市役所（町役場）へ通報。
- ・ 住民への避難の呼びかけ
- ・ 土嚢積み等、被害を抑える行動
- ・ 避難行動要支援者の避難支援

災害発生!!



災害発生直後

- ・ 被害を抑えるための行動と避難所運営
- ・ 自身と家族の安全確保
- ・ 水防活動
- ・ 安否や被害についての情報収集
- ・ 救出活動
- ・ 負傷者の手当・搬送・避難所運営



地震と違って、風水害は発生までに時間があるまるから、早めの避難が重要まる~!!

3. 避難所・避難場所・防災倉庫

類別	施設名	住所	開設者 鍵管理者	電話番号
避難場所	〇〇公園	〇〇市(町)		
避難所	〇〇小学校	〇〇市(町)	〇〇市(町) 危機管理課	TEL.0000-00-0000
防災倉庫	〇〇小学校	〇〇市(町)	物資班長	TEL.0000-00-0000

4. 関係機関連絡リスト

類別	施設名	住所	連絡先
市役所 (町役場)	〇〇市(町) 危機管理課	〇〇市(町)	TEL.0000-00-0000 Mail.
医療機関	〇〇内科		
	〇〇整形外科		
消防署	〇〇消防署		TEL.119 管轄署 TEL.
警察	〇〇警察		TEL.110 管轄署 TEL.
電気	〇〇電気		
ガス	〇〇ガス		
水道	〇〇水道		

5. 保有防災資機材・備蓄リスト（飲料水、食糧、電源、燃料等）

項目	資機材	数量	項目	資機材	数量	
初期消火用	消火器		避難所・避難用	発電機		
	バケツ			燃料		
	可搬ポンプ			投光器		
				携帯トイレ		
水防用	シャベル			リヤカー		
	つるはし			電池		
	土のう袋			強カライト		
救出用	バール			給食・給水用	非常食	
	はしご				水	
	チェーンソー		鍋			
	ヘルメット		コンロ			
	作業手袋		ガスボンベ			
			給水タンク			
救護用	担架					
	応急セット					
	毛布					



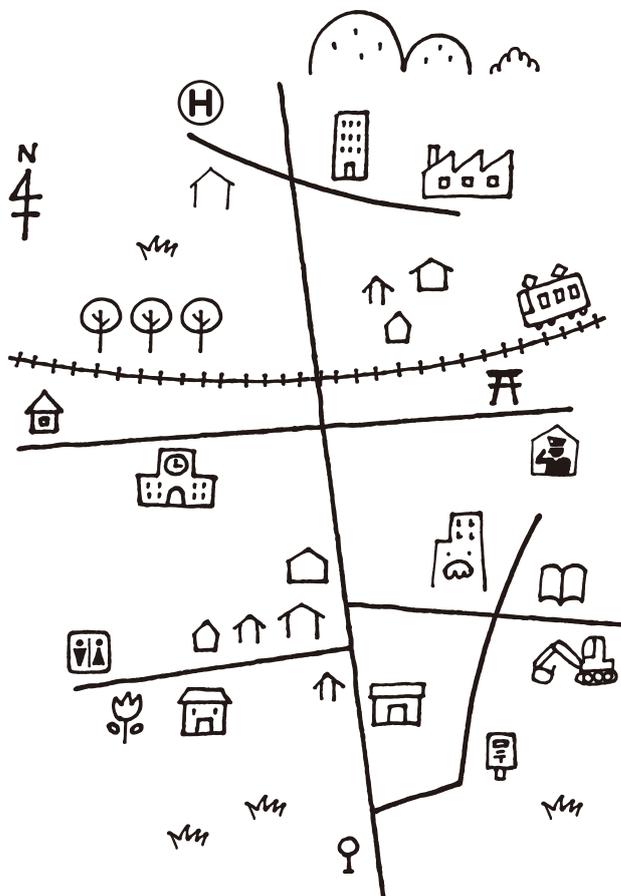
- ・はじめから多くの資機材を備蓄するのは難しいことから、地域特性や活動実態を踏まえ、必要な資機材を備蓄しましょう。
- ・防災訓練の際に、点検や使用方法の確認をしましょう。

6. 地区防災マップ

〇まち歩きを実施することにより次の場所(箇所)を把握し、
地図を作成(写真やシールでオリジナルのマップを作成)

【場所】

- ・安全な場所
- ・災害時に役に立つ場所
- ・危険な場所(ハザードマップ等を確認)
- ・避難所・避難場所・避難路
- ・生活用水が確保できる場所
- ・道路寸断の恐れがある箇所
- ・孤立の可能性のある集落
- ・ヘリコプター・ドローンの離発着場 など



マップをつくるときには、
個人情報にも配慮するまる!



栃木県内の防災マップ事例

基本版
地区防災計画モデル例

孤立可能性集落版
地区防災計画モデル例

シンプル版
地区防災計画モデル例

〈小山市延島地区の例〉

チェックシート例

	凡 例	メ	モ	
安全な場所	広い空間			
	広い駐車場			
	公園・広場			
	高いところ			
災害時に役に立つ場所	消火栓・消火器			
	防犯灯			
	防火水槽・井戸・水場			
	消防機庫			
	公衆便所			
	公衆電話			
	病院・医院			
	薬局			
	防災資材のある店			
	コンビニ・スーパー			
	掲示板			
	危険な場所	狭い道		
		行き止まり		
危険な道				
その他				

安全な場所は ● 青シール、
危険な場所は ● 赤シールを
貼ってわかりやすいまるね〜♪



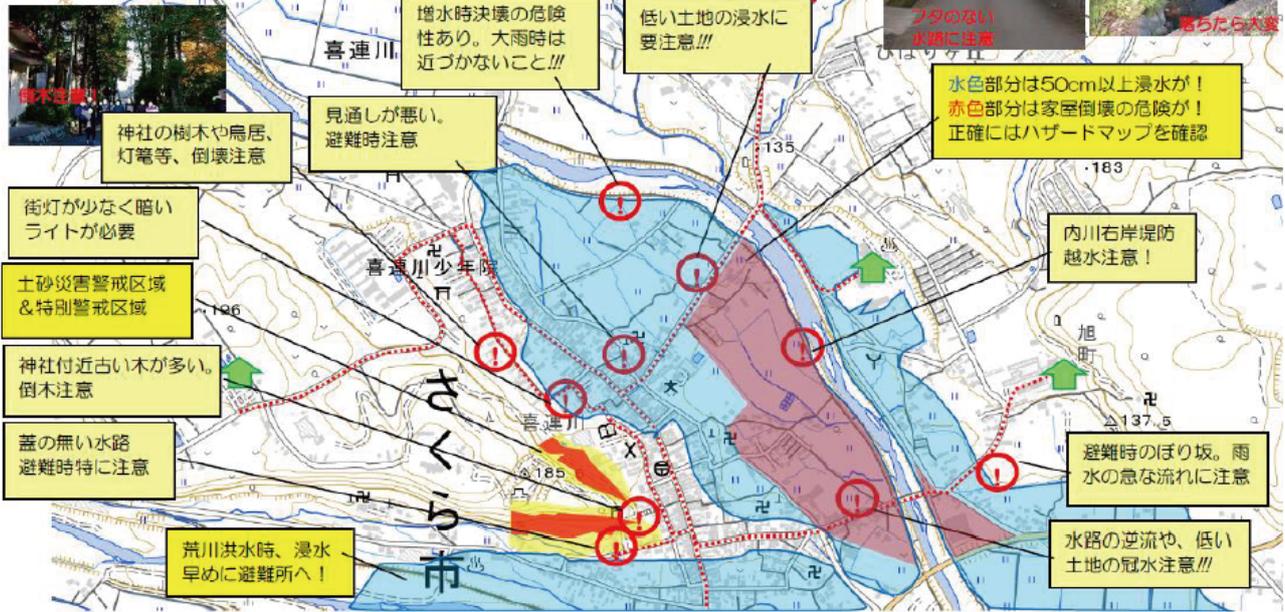
他地区のマップを
参考にするまる〜♪



さくら市喜連川中央自主防災組織わがまち防災マップ

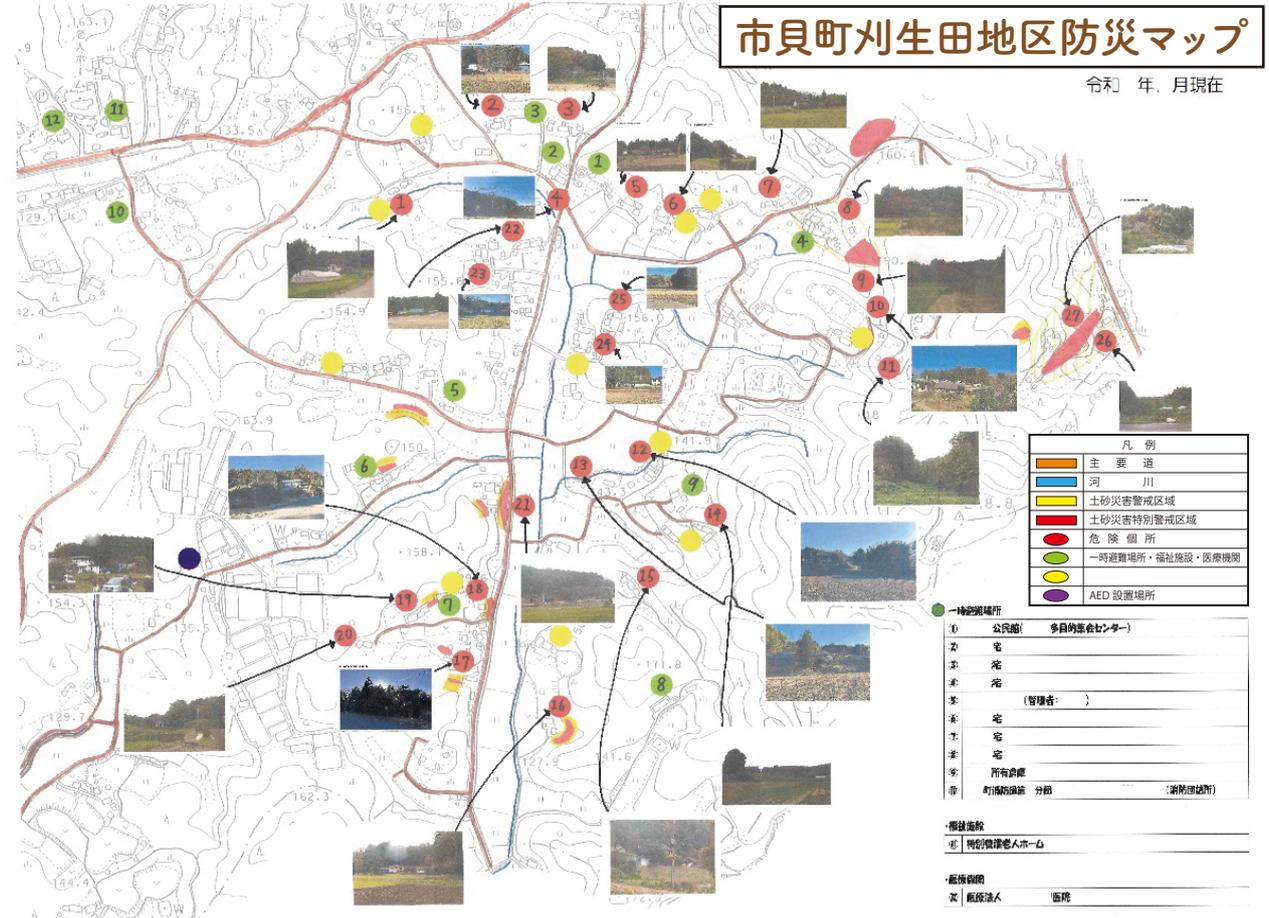
- 共通1 まちなかの水路は蓋がない場所が多い。大きな水路も多く、流される可能性がある。 → 避難時は注意!!!
- 共通2 古い建物や塀が多い。 → 地震や台風時は倒壊に注意!!!
- 共通3 50cmを超える浸水エリアが広い!!! (水色) → 早めの避難が重要!!!

万が一逃げ遅れたら公民館へ避難しても良いか? → 危険です。公民館・体育館は土砂災害の危険あり。図書館入り口付近の高い場所にとどまり、安全を確保しましょう。



市貝町刈生田地区防災マップ

令和 年 月 現在



地区防災計画モデル例 孤立可能性集落版

〇〇市(町)〇〇地区防災計画 【第〇版】

〈写真・イラスト等〉

- (例)
- ・地区の風景写真
 - ・過去の災害による被害が分かる写真
 - ・地域の子どもが描いたイラスト など

このスペースに、自由に
イラストや写真をいれて
オリジナルの表紙を完成
させるまる〜♪



令和〇〇(20・・)年〇〇月 〇〇地区自主防災組織・自治会

かつて自主的につくった計画を
みんなで見直して、「地区防災計画」と
するのもOKまる♪



地区防災計画モデル例／孤立可能性集落版

項目例

項目	内容
地区の概要	基本方針
	地区の範囲と地区の特徴（社会特性）
	過去の主な災害
	今後想定される災害
防災活動	活動目標・活動体制
	平常時の防災活動（活動スケジュール）
	災害時の防災活動
	孤立発生時のフロー図
孤立可能性集落の対策	孤立可能性集落の把握
	避難所・避難場所
	情報連絡手段
	ヘリコプター・ドローン
	関連機関連絡リスト
	保有防災資機材・備蓄リスト
マップ	地区防災マップ



- ・最初からすべてを盛り込む必要はありません。地区に必要な項目から盛り込みましょう。
- ・定期的に見直ししながら、項目を増やしていくこともOKです。

地区防災計画は、
小さく産んで
大きく育てるまるね~♪



1. 地区の概要

(1) 基本方針

- 自分達の地域は自分達で守る
- 「自助」と「共助」で災害を乗り越える
- 定期的な訓練の成果を計画に反映させて更新する

みんなで話し合っ、カッコイイ
「基本方針」にするまる〜♪



(2) 地区の範囲

〇〇防災会、〇〇自主防災組織、〇〇自治会など

自治会でも、小学校区でも何でもOKまる♪
動きやすい単位が大切まるよ〜!



(3) 地区の特徴

人 口	〇〇〇人 (うち要支援者〇人)	世 帯 数	〇〇〇世帯 (うち要支援者のみ〇世帯)
状 況	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇市(町)北部に位置している。 ・土砂災害警戒区域に指定されている〇〇地区は、道路の寸断により孤立する可能性がある。 ・高齢者が多い地域(65歳以上の高齢者の割合〇〇%)のため、避難行動要支援者対策が重要である。 ・〇〇川の氾濫により、周辺が浸水したことがある。 <p style="text-align: right;">など</p>		

令和〇年〇月時点

(4) 過去の主な災害

災害名称 発生年月日	災害による被害状況など
東日本大震災 平成23(2011)年 3月11日	<ul style="list-style-type: none"> ・14時46分に発生。〇〇市(町)は震度6強。 ・住家:約〇棟が全壊。約〇〇棟が半壊。ブロック塀の倒壊多数。 ・停電:〇世帯。〇日で復旧。 ・断水:〇世帯。〇日で復旧。 ・〇〇道路で液状化発生。
令和元年東日本台風 令和元(2019)年 10月12日	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇川が氾濫し、周辺地区が浸水。★★地区では、床上浸水〇〇棟、床下浸水〇〇棟の被害が発生。大雨で〇〇ミリを観測。 ・避難所開設:〇〇小学校(〇世帯〇〇人避難)

(5) 今後予想される災害

災害種別	想定される災害	対策
大雨災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害により県道〇〇号が通行不能となり孤立する恐れ。 ・〇〇川の氾濫により県道〇〇号が通行不能になる恐れ。 	<ul style="list-style-type: none"> ・避難する際には、近所の方々に声をかけて、明るいうちに早めに避難所へ避難。 ・孤立に備えて、通信手段、備蓄、ヘリコプター・ドローン離発着場の確保
地震災害 	<ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害により県道〇〇号が通行不能となり孤立する恐れ。 ・家屋の倒壊や火災発生。 	<ul style="list-style-type: none"> ・危険箇所を洗い出し、マップ整理、各家庭に配布。 ・孤立に備えて、通信手段、備蓄、ヘリコプター・ドローン離発着場の確保

過去の災害から学んで、今後に役立てるまる~♪



2. 防災活動

取り組みやすい「防災資機材のチェック」から
訓練をはじめまる~♪
楽しく防災活動をするのも継続するコツまるよ~!

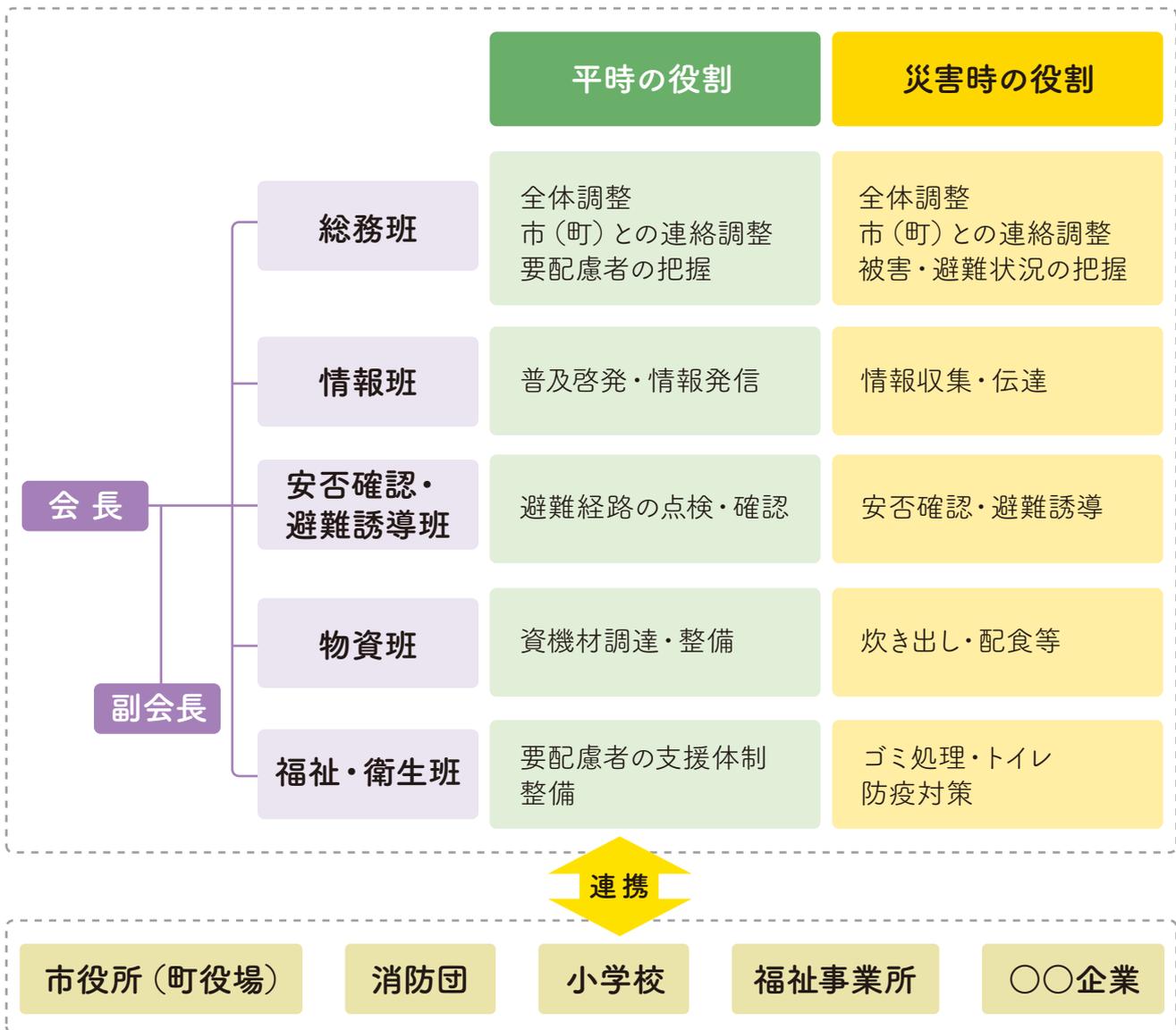


(1) 活動目標

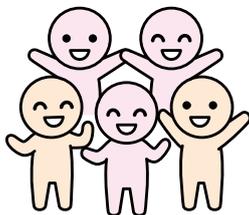
【例】

- 地区のお祭りと一緒に防災訓練も毎年実施。
- 防災を住民みんなで楽しく学ぶ機会を設ける。 など

(2) 活動体制と役割



班編制は柔軟に!



必要な班を
考えるまる~!



(3) 平常時の防災活動

この中から地区の実情にあったものを選んで活動するまる〜♪

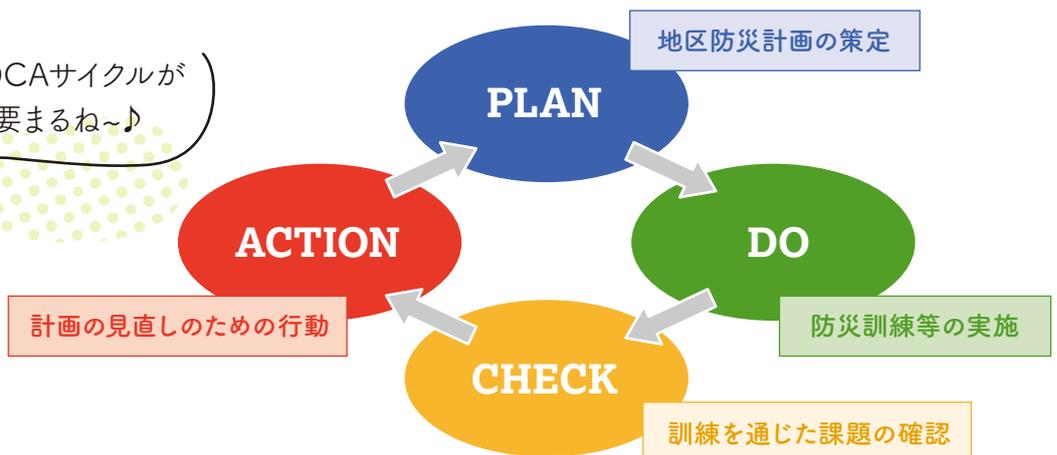


時期	項目	内容
4月	役員会	・地区防災計画の配布・共有
5月	防災訓練(春)	・関係機関との防災訓練(避難所運営等) ・備蓄倉庫の防災資機材チェック
6月	要配慮者の支援 体制整備・訓練	・要配慮者と支援者の顔合わせ・連絡網確認 ・個別避難計画に基づく訓練
7月	普及啓発	・防災研修会の開催
8月	地区夏祭り +防災	・夏祭りに防災の要素を追加し、防災を楽しく 学ぶ機会を確保(防災クイズ等) ・地区防災計画の周知
9月	一斉点検の日	・防災の日に合わせて、各家庭一斉点検
10月	防災まち歩きと 防災マップ更新	・まち歩きで危険箇所の把握や避難経路の点検 等を実施し、マップを更新
11月	地区イベントと 防災訓練(秋)	・地区のイベントと抱き合わせによる防災訓練 (消火訓練、避難誘導訓練等)
3月	地区防災計画の 見直し	・1年間の活動を振り返り、計画の見直しを実施
随時	日常備蓄の推進 (ローリングストック)	・各家庭で普段食べているものや使っているものを常に少し多めに購入



- ・活動を振り返り、地区防災計画を見直すことが重要です。少しずつ計画を充実させていきましょう(PDCA サイクル)。
- ・楽しいイベントと防災をかけあわせることで、若い世代の参加が期待できます。

PDCAサイクルが重要まるね〜♪



(4) 災害時の防災活動

項目	担当	内容
役員の招集 地区対策本部	会長 副会長 総務班 各班長	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇地区対策本部(緊急役員会)を立ち上げ ・各班の人員調整や活動調整
情報収集・伝達	会長 副会長 情報班	<ul style="list-style-type: none"> ・連絡網により住民に避難を呼びかけ ・地区の被災状況を把握 ・市役所(町役場)へ被災状況を報告
安否確認	安否確認・ 避難誘導班	<ul style="list-style-type: none"> ・地区住民の安否確認を実施
避難行動 要支援者の支援	福祉・衛生班	<ul style="list-style-type: none"> ・個別避難計画に基づき、避難行動を支援する者に連絡し、安否確認や避難支援を実施
避難所の運営	総務班 物資班 福祉・衛生班	<ul style="list-style-type: none"> ・〇〇小学校に開設された避難所の運営を実施(受付簿を設置) <p><避難所></p> <ul style="list-style-type: none"> ・感染症対策 ・トイレ・ゴミ処理の対策 ・避難者の状況をとりとまとめ ・炊き出し等の給食、給水 ・防犯のため避難所内を巡回 ・避難者に対する声かけ ・物資管理 など

毎年訓練をすると、活動内容のイメージができるまるよ～!



- ・災害発生時には、速やかな安否確認や住民に寄り添った避難所運営など、住民の安全・安心の確保が最優先になります。

Point!

(5) 孤立発生時の対応



状況確認

- ・ 孤立人数・世帯の把握 / 人的・物的被害の確認
- ・ 要配慮者の状態 / 水食料等の備蓄状況の確認

連絡手段
電源確保

- ・ 連絡手段の確保
- ・ 電源の確保

市(町)へ連絡

- ・ 市(町)への連絡・要請
(孤立人数、備蓄、配慮項目等)

共助力発揮

- ・ 避難所の運営 / 水食料等の確保
(ヘリ・ドローン輸送等)
- ・ 市(町)との定期的な連絡
(現状報告 / 集落外へ避難の適否)

孤立解消又は
集落外へ避難

地区内のみんなで、孤立発生時の
流れを確認するまる〜!



3.孤立可能性集落の対策

(1) 孤立可能性集落の把握【予想される孤立期間:○日程度】

・○○道にて土砂災害が発生した場合、道路交通による外部からのアクセスが途絶し、人の移動・物資の流通が困難となり、○○地区○○世帯が孤立。など

(2) 避難所・避難場所の把握

類別	施設名	住所	開設者	電話番号
避難場所	○○公園	○○市(町)○○123		
避難所	○○小学校	○○市(町)○○789	○○市(町) 危機管理課	Tel.0000-00-0000

(3) 情報手段(通信連絡)

- ・通信障害を想定して、衛星携帯電話や防災行政無線を配備
- ・市(町)危機管理課へ被災状況や不足物資等を連絡

【○○市(町)危機管理課連絡先】

電話番号	FAX	e-mail
0000-00-0000	0000-00-0000	kikikanri@city.*****.jp

(4) ヘリコプターやドローンによる傷病者や物資の搬送

項目	場所	備考
ヘリコプター臨時発着場	○○広場	
ドローン発着場	○○公園	

予想される孤立期間を踏まえて備蓄するまる～!



(5) 関係機関連絡リスト

類別	施設名	住所	連絡先
市役所 (町役場)	〇〇市(町) 危機管理課	〇〇市(町)	TEL.0000-00-0000 Mail.
医療機関	〇〇内科		
	〇〇整形外科		
消防署	〇〇消防署		TEL.119 管轄署 TEL.
警察	〇〇警察		TEL.110 管轄署 TEL.
電気	〇〇電気		
ガス	〇〇ガス		
水道	〇〇水道		

(6) 保有防災資機材・備蓄リスト(飲料水、食糧、電源、燃料等)

防災倉庫	住所	鍵の管理
〇〇小学校	〇〇市(町) 〇〇789	物資班長 TEL:0280-00-0000

項目	資機材	数量	項目	資機材	数量
初期消火用	消火器		避難所・避難用	発電機	
	バケツ			燃料	
	可搬ポンプ			投光器	
水防用	シャベル			携帯トイレ	
	つるはし			リヤカー	
	土のう袋			電池	
				強カライト	
救出用	バール		給食・給水用	非常食	
	はしご			水	
	チェーンソー			鍋	
	ヘルメット			コンロ	
	作業手袋			ガスボンベ	
救護用	担架			給水タンク	
	応急セット				
	毛布				



- ・はじめから多くの資機材を備蓄するのは難しいことから、地域特性や活動実態を踏まえ、必要な資機材を備蓄しましょう。
- ・防災訓練の際に、点検や使用方法の確認をしましょう。

地区防災計画モデル例 シンプル版

〇〇市(町)〇〇地区防災計画 (令和〇年〇月作成)

基本方針と地区の災害リスク

(1)基本方針

- 「自分の身は自分で守る(自助)」が第一。
- 自分や家族の安全が確保されたら、隣近所などを助けに行く(共助)
- 避難行動要支援者(自分だけでは逃げられない人)は、あらかじめ定めた方法で支援。

(2)地区の災害リスク

【地震】

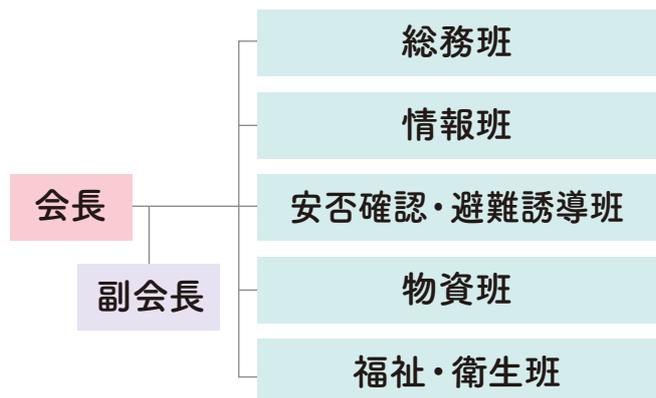
- ・古い家屋やブロック塀の倒壊が懸念。
- ・家が密集しているため火災による延焼が懸念。

【風水害】

- ・〇〇川の氾濫による住家被害の恐れ。
- ・〇〇地域で土砂災害の恐れ。

自主防災組織の体制

会長・副会長と各班長を中心に住民全員で対応



各家庭の対応

平時の備え

- 家具の固定、家の耐震補強実施
- 避難タイミングと避難先の検討
- 情報収集手段の確認
- 自宅が被災した場合の避難生活を送る場所の検討
- 日常備蓄の推進 (食料・水・携帯トイレ等)

地震時の対応

- 自分と家族の安全確保
- ブレーカーを落とし、ガスの元栓を閉めて避難場所へ避難
- 隣近所で助け合い (初期消火、救助など)
- 自宅での生活が難しい場合は、避難所(安全な場所など)で避難生活

風水害時の対応

- ※情報収集と早めの避難が重要
- 高齢者や妊婦など、避難に時間を要する方がいる場合、市(町)から発令された警戒レベル3で避難所等へ避難
- 市(町)から警戒レベル4が発令された場合、周囲の安全に留意して避難所等へ避難

自主防災組織の対応

- 地区防災計画の配布・共有
- 防災訓練(避難訓練・資機材チェック、避難所の運営、消火訓練等)
- 防災まちあるき
- 避難行動要支援者の支援体制確認と避難訓練
- 地区防災計画の見直し

- 安否確認や被害に関する情報収集
- 初期消火・救出活動 ○負傷者の手当・搬送
- 避難所の開設・運営
- 避難行動要支援者への支援
- 物資需要の把握 ○給食、給水 ○感染症対策
- 防犯 ○トイレ・ゴミ処理 など

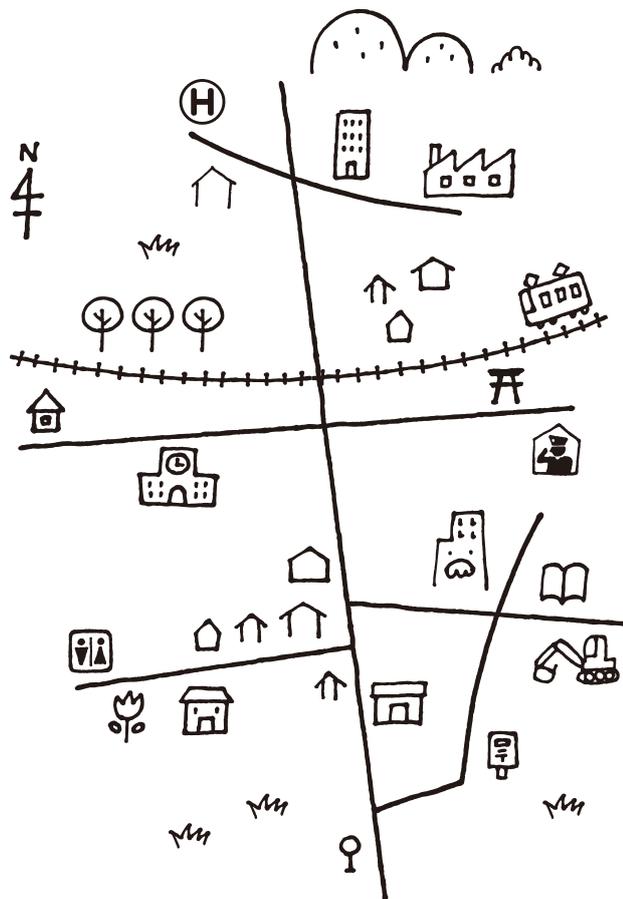
- 災害リスクが高まる情報を入手した場合、住民へ早めの避難を周知
- 常に最新情報を入手し、適切なタイミングで避難
- 避難行動要支援者を避難所等へ移送

〇〇市(町)〇〇地区防災マップ(令和〇年〇月作成)

〇まち歩きを実施することにより次の場所(箇所)を把握し、
地図を作成(写真やシールでオリジナルのマップを作成)

【場所】

- ・安全な場所
- ・災害時に役に立つ場所
- ・危険な場所(ハザードマップ等を確認)
- ・避難所・避難場所・避難路
- ・生活用水が確保できる場所
- ・道路寸断の恐れがある箇所
- ・孤立の可能性のある集落
- ・ヘリコプター・ドローンの離発着場



このように、**A4サイズ1~2枚でもOK**まる~!
重要なのは、「住民みんなで話し合って
共有する」ことまるよ~♪
計画作成がゴールではなく、スタートまる~!





できるところから
地区防災計画

